

台東区教育大綱

台東区は、上野、浅草、谷中、隅田川など歴史と伝統に恵まれた地域を擁し、情緒ある個性豊かな文化を育んできたまちです。日々のにぎわいある暮らしの中で、子供からお年寄りまで様々な世代が助け合い、心意気と人情で支え合いながら希望と活力にあふれた暮らしを続けています。

今、本区では、こうしたかけがえのない財産を活かし、「教育はひとつづくり」の観点から、台東区のまち全体を人が成長するための環境「学びのキャンパス」としてとらえ、学校、家庭、地域の信頼と支え合いの中で、将来の台東区を担うひとつづくりを推進しています。

今後、この施策をさらに充実させ、地域に支えられたひとつづくりが、世界に輝く台東区を築く人材を育むとともに、平和で、多様な人々が活躍できる魅力あるまちづくりへと結びつくよう、次の項目に取り組みます。

●温故創新とこころざし

台東区の歴史、文化を尊重し、伝統・技能を継承、発展させるとともに、こころざしを立て、新たな地域や社会を創造するひとつづくりを進めます。

●自己実現と支え合い

区民が生涯を通じて自己実現に努め、自他を尊重し共に支え合い、変化が大きい社会を生き抜く力を培えるよう支援します。

●教育に対する信頼と尊敬

教育に携わる教師・保育士の資質向上をたゆまず図り、子供たちや保護者、地域から、より信頼され尊敬される人材を育成します。

●心の豊かさや学びの環境づくり

区民一人ひとりが心豊かに生涯を送れるよう、いつでも、どこでも、誰もが、ライフステージに応じて学べる環境を整備します。

●絆と地域力

家庭や地域社会の絆を大切に、活力あるコミュニティの形成に努め、地域力を高めます。

令和元年5月8日
台東区長 服部 征夫

はじめに

子供の基本的な生活習慣の欠如や小1プロブレム、学校不適応等の課題解決に向けて、幼稚園・保育所・認定こども園(以下、「幼児教育施設」という。)や小学校には、子供の発達や学びの連続性を踏まえ、幼児教育と小学校教育の円滑な接続を図り、子供の健やかな育ちを保障することが求められています。

そして、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領(以下、「3要領・指針」という。)においては「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が示され、それに基づいた幼児教育の実践とともに、小学校教育との円滑な接続が求められています。また、小学校学習指導要領においても、幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を踏まえた教育活動を実施することが必要とされています。

さらに、中央教育審議会初等中等教育分科会の下に設置された「幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会」が令和5年2月に取りまとめた「学びや生活の基盤をつくる幼児教育と小学校教育の接続について～幼保小の協働による架け橋期の教育の充実～」においても、幼児教育施設、小学校という異なる施設類型や学校種にまたがる5歳児から小学校1年生までの2年間の教育の重要性について、改めて示されています。

幼児教育施設と小学校(以下、「幼保小」という。)の接続を図るために、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた指導を工夫することにより、幼児期の教育・保育を通して育まれた資質・能力を考慮した教育活動を実施することが求められています。

子供たちの育ちを確かなものにしていくためには、幼児教育施設の保育者は幼児が小学校でどのように学んでいくのか、小学校の教員は児童が幼児教育施設でどのように育ってきたのかを理解し、それぞれの教育をさらに充実させていくことが大切です。そして、幼保小が協働し、「共通の視点」をもって教育課程や指導計画等を具体化できるように、カリキュラムを作成していくことが重要です。

台東区では、幼児教育と小学校教育との円滑な接続を目指し、平成23年1月に「幼児教育共通カリキュラム『ちいさな芽』」を策定いたしました。各学校園においては、カリキュラムの柱である「生活」「人とのかかわり」「学び」の視点に基づき3歳児、4歳児、5歳児、小学校1年生の指導計画について検討を重ね、「ちいさな芽」に基づく教育・保育を推進してまいりました。

教育支援館においては「ちいさな芽実践推進訪問」を実施し、遊びや学習場面における子供の様子や担任の関わり方を観察し、研修支援専門員より子供の発達に沿った適切な指導や援助、幼児期に経験した事柄や身に付けた力を生かした指導の在り方について担任に助言するとともに「ちいさな芽」の周知と活用の推進に取り組んでまいりました。

このたび、幼保小連携の課題でもある接続期の指導の更なる充実に向けて、令和2年度より3年間かけて「幼児教育共通カリキュラム開発委員会」が中心となり作成した、接続期カリキュラムに関わる実践事例を『接続期カリキュラム事例集～増補版～』として1冊にまとめ発行いたしました。

本書を円滑な接続に向けてのアプローチカリキュラムやスタートカリキュラムを作成する際の指針としていただき、幼保小が連携を深めていくための一助となれば幸いです。すでに各学校園で活用していただいている「ちいさな芽 基礎編・実践編」「ちいさな芽 事例集」「接続期カリキュラム事例集」に加えて、本書を活用した教育・保育を推進していただき、幼児教育と小学校教育の滑らかな接続がますます図られますことを心から願っております。

令和6年3月

台東区教育委員会

目 次

I	幼児教育と小学校教育の円滑な接続をめざして	
1	幼児教育の充実に向けて	3
	(1) 幼児教育共通カリキュラム策定の経緯	
	(2) 幼児教育共通カリキュラムの構造図	
2	接続期カリキュラムについて	5
	(1) 接続期カリキュラムが重要視される理由	
	(2) 接続期カリキュラムにおいて重視する点	
	(3) 接続期における「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の捉え方について	
	(4) 5歳児進級から1年生入学へ（発達の特徴と育ちの連続性）	
	(5) 「台東区の幼児教育がめざす子供の姿」の実現に向けた「幼保小の共通の視点」	
	(6) 幼児教育から小学校教育へ	
	(7) 幼保小の架け橋プログラム	
II	幼児教育における年間指導計画と実践事例	
1	3歳児の発達の特徴と指導のポイント	20
	3歳児の年間指導の流れ	
	3歳児の実践事例	
	事例1 「みんなでスタンプ遊び！」	
	事例2 「この遊びがやりたいな」	
2	4歳児の発達の特徴と指導のポイント	26
	4歳児の年間指導の流れ	
	4歳児の実践事例	
	事例1 「探検隊になって遊ぼう」	
	事例2 「友達と一緒に表現遊び！楽しいね！」	
3	5歳児の発達の特徴と指導のポイント	32
	5歳児のアプローチカリキュラム	
4	5歳児の実践事例	43
	事例1 「ウサギの世話をしよう」	
	事例2 「こいのぼり だいさくせん！！」	
	事例3 「すごい！どうしてだろう！もう1回やってみよう！」	
	事例4 「みんなでジャングルをつくろう」	
	事例5 「運動遊びにトライ！チャレンジ！」	
	事例6 「玉集めゲーム！チームでがんばろう！」	
	事例7 「『3びきの〇〇』の紙芝居を作ろう！」	
	事例8 「もうすぐ1年生 ワクワク！ドキドキ！」	
	【コラム】幼児教育施設における文字環境	

III 小学校教育におけるスタートカリキュラムと実践事例

1 スタートカリキュラムを創ろう	81
(1) 基本的な考え方	
(2) スタートカリキュラムを創る手順	
(3) 各学校のスタートカリキュラムを創る	
(4) 週案作成のポイント	
2 台東区の「スタートカリキュラム」の例	88
3 スタートカリキュラムを実践しよう	102
(1) 基本的な生活習慣の育成のために	
(2) 週ごとの指導計画や時間配分の工夫	
4 スタートカリキュラム実践事例	111
事例1 「はじめまして がっこう はじめまして ともだち」(生活)	<4月>
2-① なかよしタイム、「がっこう せいかつ すたあと」(生活)	<4月>
2-② 「げんかん たんけん に いこう」(生活)	<4月>
3 「いい てんき」(国語)	<4月>
4 「うたって おどって なかよくなろう」(音楽)	
「きゅうしょくの じゅんびをしよう」(特別活動)	<4月>
5 「おはなし たのしいな」(国語)	
「きゅうしょくの じゅんびをしよう」(特別活動)	<4月>
6 「いくつといくつ」(算数)・「きゅうしょくの じゅんびをしよう」(特別活動)	<5月>
7 「たのしいな ことばあそび」(国語)	
「きゅうしょくの じゅんびをしよう」(特別活動)	<5月>
8 「がっこう ひみつ たんてい」(生活)・「ぶんをつくろう」(国語)	<5月>
9 「にんじゃ しゅぎょうを しよう」(体育)	<5月>
10 「くまさんと ありさんの ごあいさつ」「ねこ、ねっこ」(国語)	<5月>
11 「たいりょくテストの れんしゅうを しよう」(体育)	<6月>
12 「さいて ほしいな わたしの はな ～せわを しよう～」(生活)	<6月>
13 「めざせ! みずあそび めいじん!」(体育)	<6月>
14 「としよかんと なかよし」(国語)	<7月>
15 「なつやすみを たのしく すごそう」(生活)	<7月>
16 「たのしかった ことを つたえよう」(生活)	<7月>
17 「ききたいな ともだちの はなし」(国語)	<9月>
18 「まいこちの せいかつを ふりかえろう」(学級活動)	<9月>
19 「さいて ほしいな わたしの はな ～たねが できたよ～」(生活)	<9月>
20-① 「みんなの にこにこ 大きくせん ～ふゆやすみ まえ～」(生活)	<12月>
20-② 「みんなの にこにこ 大きくせん ～ふゆやすみ あと～」(生活)	<1月>
21-① 「もうすぐ みんな 2年生 ～ようこそ、わたしたちの 学校へ～」(生活・算数・図工)	
21-② 「もうすぐ 小学1年生 ～小学校って どんなどころかな～」	<2月>
22 「もうすぐ みんな 2年生 ～ありがとう 1年生の きょうしつ～」(生活)	<3月>

IV 特別支援教育についての考え方と関連資料

1 特別に支援が必要な子供への支援	163
(1) 基本的な考え方	
(2) 早期発見、早期支援のポイント	
(3) 専門機関との連携	
2 「台東区の就学支援シート」記入の流れ及び記入例	166
3 個別指導計画の作成	168
4 「個別の教育支援計画」の書式例	172

【巻末資料】 174

【カリキュラム事例作成 協力者】 184